

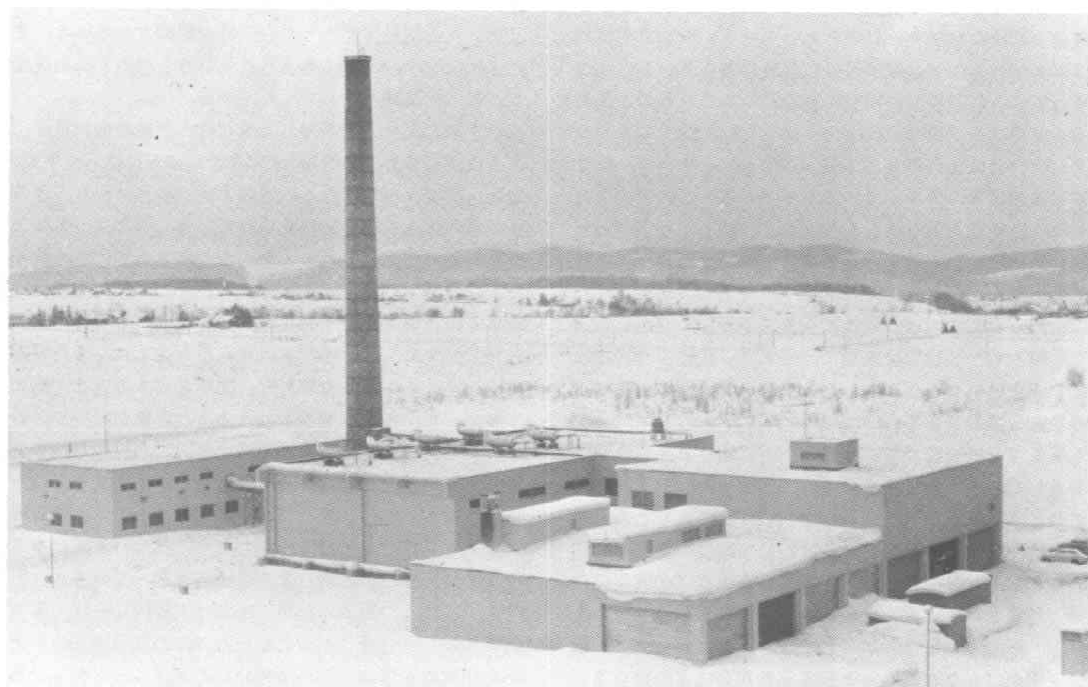


第 11 号

昭和52年 3 月 1 日

編集 旭 川 医 科 大 学
厚 生 補 導 委 員 会
発行 旭川医科大学教務部学生課

(題字は山田守英学長)



廃液処理施設及び中央機械室

内 容

ニーチェの夢.....安田 博..... 2	春山登山の事故防止..... 6
対話：旭川医大〇年〇月〇日.....黒島晨汎..... 3	学生団体について..... 6
キトウシ山でスキー遠足..... 4	サークル紹介..... 7
昭和51年度講演会..... 4	旭川医科大学談話会..... 13
欢迎 你到中国.....岡本 洋..... 4	奨学制度について..... 14
第3回全学スポーツ大会..... 5	窓 外.....福山裕三..... 14
研究室紹介.....八代 均..... 5	



ニーチェの夢

安田 博

私はきっと夢をみているに違いない。なぜなら、私は既に1900年にこの世を去っているのだから。しかし私は今ある部屋のソファに横たわっている。周囲の本棚には天文学、物理学、数学等の自然科学書がぎっしりとつまっている。窓越しに円型の天文台のようなものが見える。此处はある科学研究所の一室らしい。机上のカレンダー、時計は1977年3月1日、正午を示している。私は77年後の世界の夢を見ているようである。この夢の束の間に、生前私が果し得なかったこと、即ち永劫回帰説が果して物理的に可能かどうかを、この時代の科学を通して考えてみたい。

私の永劫回帰説は、「世界は永劫に遍歴し、回帰の巨大な年輪をもつ。世界は永劫に回帰する。現在の世界は永劫の過去にいつか既にあったはずだし、永劫の未来にいつかあるはずである。」に集約される。

一先づ、この世界をあらゆる銀河、銀河集団を含む空間としての宇宙としよう。さらに宇宙を一つの天体と見ておこう。「はじめに爆発ありき」。宇宙のありとあらゆるものが一個処にひしめき合った超高密度の世界が爆発的に膨張をはじめたのである。時は今より200億年位の昔と計算される。そして現在の宇宙も膨張し続けている事が、観測の結果から知られている。したがってこの膨張宇宙がどんなものか、そしてそれが今後どの様な運命を辿るのが、大きな問題となるわけである。

さて、私が生存していた時代の宇宙に対する見解、研究方法と現代のそれらとでは、恐ろしく大きな隔りがあることを感ずるのである。私がかって夢想だにしなかった事が、平然とまかり通っている。例えば相対論がある。これはアインシュタインが提唱した理論で、特殊相対論と一般相対論があり、従来の時間と空間の概念をすっかり変えてしまった。時間に関して独創的な考えをもっていた哲学者ベルグソンも、この相対論の出現にショックを受け、それから10年間相対論を必死になって研究し、遂には相対論に関する論文を出すに至ったとは、私も驚きいった。また空間にしても、ミンコフスキー空間や4次元リーマン時空が現われてくる。宇宙論には、この相対論が不可欠のようである。次いで、巨大な天体望遠鏡、電波望遠鏡の出現と共に、観測技術の大きな進歩がある。1965年米国のベルジャスとウイルソンがこの電波望遠鏡で、ある電波を発見した。これは開闢当時の宇宙が発したもので、最近宇宙バックグラウンド電波（宇宙背景電波）と呼ばれ、この発見が宇宙論をまた大きく変えてし

まった。現在は直接に初期宇宙を観測できるのである。また同じ背景輻射にX線、赤外線があり、これらはロケット、人工衛星等によって大気外で観測されている。またこれらのデータ処理や膨大な数値計算も恐ろしい高速度で、電子計算機がやってくれている。

話を前に戻そう。爆発して飛び散った無数の物質は、ある法則的なもの一既知、未知を含めて一に従って生成、発展、消滅、再生等種々の過程を経て現在に到り、さらに一瞬の休みもなく変化を続けている。例えば、爆発後百万年もたつと、そろそろ銀河が形成されてくる。我々の太陽系を含む銀河もそうであるが、この銀河の成員は数多くの星であり、それらの間には星間ガスや星間塵が分布しており、その中でガスから星が生まれ、また星が爆発してエネルギーを放射し、磁場とガスの運動が高エネルギー粒子を加速するというような現象が起っているのである。これらの現象を説明するのに一般相対論を必要としない。ところが最近この理論を必要とする天体が発見された。中性子星やブラックホールである。前者の質量は1立方センチ10億トンもあり、後者はさらに重く、そこでは初期宇宙と同じような現象が起っているという。

さて、種々の観測の結果、宇宙は大局的に一様・等方的に膨張していることがわかった。この膨張宇宙のモデルを相対論を用いて初めて導いたのがフリードマンである。アインシュタインのモデルは静的な閉じたものであった。これらは空間の幾何学であると考えられる。宇宙は観測、理論的構成、幾何学化を通して人間に認識されるのであろう。私は大急ぎで、この時代の宇宙論を見てきたが、未知の問題が山積しているのに気が付く。一番大きな問題は、この宇宙が開いているのか、閉じていてやがてまた収縮するのか、一部は開き一部は閉じているようなものか、である。これは同時に「この事を果して人間が認識できるのか？」という哲学の問題でもある。私はかつて権力を意志してきた。宇宙すべてを統べる原理的ものは権力である。この原理がもし宇宙を再び収縮させるとすれば、世界は永劫に回帰するのである。

私の夢もどうやらさめてきたらしい。再びあの世に戻らなければならない。いつの日か、またこのような夢をこの世でみたいものである。

(数学 教授)





対話：旭川医大〇年〇月〇日

黒島 晨 汎

“すぐれた研究とは現在のすべての能力、過去のすべての寄与、将来のすべての希望（可能性）を
その中にとりあげたものであろう”

(1977. 1. 31.)

a：先生、一寸お邪魔してもよろしいですか。

A：やあ、君か。いいとも、丁度お茶にしようと思って
いたところだ。最近顔を見せないからどうしたのかと
思っていた。元気だったかい。

a：ええ。先生からお借りしたリラダンの本にすっかり
参ってしまいました。彼の極端な精神至上主義は夢想
でしかあり得ないわけですが、下宿の裸電球の下で孤
独を託っている時は、慰めになりますね。ところで、
先生にお聞きしたいんですが、どうして基礎医学の分
野を専攻されたのですか。

A：結局は相対的価値観の問題だよ。ぼくも最初は有能
な臨床医になるつもりだった。医学部に来る人間で最
初から基礎医学を志している者なんかいないじゃな
いかな。それが気がついたら生理学を専攻する研究者
になっていたわけだ。何故この道に進んだかよく聞か
れる質問だが、はっきりしたことは答えられないね。
よくこのような個人的な問いかけに明確な動機を開陳
される立派な先生がおられるが、ぼくにはどうもそれ
は事が成った後の合理化された意味付け、つまり一種
の虚構のように思えるんだ。まあ心理学的な分析はこ
の辺にして、折角だからぼくの場合について、敢えて
虚構かも知れないことを述べてみようか。君ももう幾
分かじって知っているように、医学はあらゆるからだ
の異常（病気）について、その原因と治療法を探索し、
さらに予防方についても検討している。しかしぼくには
健康ということの方がもっと異常な状態のように思わ
れるんだ。つまりわれわれのからだのように身体的に
も精神的にも脆弱で、損われ易いものが、どのように
して、かくもしぶとく60年も70年も、時には一世紀も
の間その存在を主張し続けることができるのであろう
か。ぼくにはその原因を探索することが価値のあるこ
とに思えた。だから医師の免許証を手にした時、初志
のとおり臨床医の道を進むか、あるいは生理学という
基礎医学への道を選ぶかは、前に話したように相対的
価値観の問題としてぼくの自由意志の前に投げかけら
れたというわけだ。ところで医学部を出て、基礎医学
を専攻する者は臨床医に向かない人間だと言うひとが
いるが、その意味は良く分からないが、ぼくに言わせ
れば医学部で学んで有能な医師になれないような人間
なら、優れた基礎医学の研究者にもなれないと思うね。

大分堅い話になってしまったが、これはどうも後から
相当形を整えたもののようだ。この道を選んだ時は、
もっと漠然とした、宗教という回心的なものだったよ
うに思うが、まあ現在はこうしてぼくは基礎医学の世
界に入るようになったのだと信じている。

a：最後のところで安心しました。ぼくには到底、確固
たる信念に基づいて自分の将来を選択する自信がない
んです。しかし回心ということなら案外ぼくにも訪れ
るかも知れません。ところで話が変わりますが、先生は
今の日本の医学研究のレベルについてどのようにお考
えですか。

A：うむ、難しい質問だね。これは一流の研究者によっ
て、しかも特定の研究分野についてのみ妥当な答が期
待されることだからね。しかし自分で何もしないで、
従って、いてもいなくてもよい評論家的立場で印象を
言わせて貰うならば、1から2という過程では一流の
研究は少ないように思うね。しかし2から100という
過程では随分良い仕事があるように見えるね。

a：もっと分かるようにご説明願えませんか。

A：つまりね、1から2への過程の1という差は、2か
ら100までの過程の97という差に比べて問題にならない
位大きいということを指摘したいわけだ。何故なら、
1から2になることによって始めて複数という新しい
概念がわれわれの精神に導入されるからだ。2から
後は100であろうと10万であろうと、いささかも新し
いものは与えられない。むしろ10万という数の必要な
ことは明らかだね。ぼくの言いたいのは独創的研究
というのは1から2への過程を造り出すもので、2
から100あるいは10万というような過程へ進むのは開
発的研究と称すべきもので、まあ両方とも必要だけれ
ど、両者のバランスがあまりに不均衡だと、結局は底
の浅い植民地的な研究風土しか育たないんじゃないか
ということなんだ。もう一つ言いたいことがある。そ
れは学問研究をProcrustesの寝床に釘づけにするよ
うなことをしてはならないということだ。

a：それはどんな寝床なんですか。

A：おや、いけない。3時から会議なんですね。このこ
とは君が調べてごらん。この次の機会に色々君の考え
も聞かせて貰えると有り難いね。じゃ失敬するよ。

a：分かりました。その時を楽しみにしています。

(生理学第一講座教授)

キトウシ山でスキー遠足

零下23.4度（午前6時）という前々日の寒気も緩んだ2月19日（土）、東山町キトウシ国際スキー場で、第1学年学生とグループ担任が参加してスキー遠足が実施されました。好天に恵まれ、カラフルなヤッケの華々しくゲレンデで、午前中は指導員の指示による班別練習、昼食と懇談をはさんで午後からは思い思いのシュブールを描いて自由練習が行われ、参加者一同は怪我もなく、冬の一日を満喫しました。（学生課）



昭和51年度講演会

昭和51年度講演会は、後藤平吉藤女子大学教授及び小暮雄北海道大学教授を講師に迎えて、去る2月16日（水）午後1時から臨床第1講義室で開催されました。

学生、看護職員約100名が聞き入る中、両講師は現在話題となっている「管理社会」及び「尊厳死」について、時にはユーモアを交えてその蘊蓄を傾け、会場では熱心にメモを取る姿が目立ちました。（学生課）



ホフ イン ニー タオ チョン クオ 歓迎 你到中国

岡本 洋

今度の中国訪問は、東京と北海道の学生が主体となった、第3次学生友好訪中国の一員として、2週間余りの冬季休みを利用して実現できた。中国では、上海を足場に、蘇州、南京、北京と進み、教育施設を中心に、各地の病院、人民公社等の見学と交流会とを行った。その詳細については、今後、帰国報告会等を通じ、実際に眼で見た中国の姿を伝える事ができると思う。

中国を訪れる前、一番気に懸かった事は、あの暗く長い日中戦争の歴史だった。国交回復が為され、やっと戦争状態には終止符が打たれたものの、今猶、平和友好条約締結が行われないまま中途半端な関係が続いている。我々の世代が、戦争を“経験”しないという論理は、一千万人の犠牲者の出た土地を前にして、いかにも通用しそうにも思われなかったし、また、無意味でもあるように思われた。それは、北京の防空壕を見学した時、まだ中国では戦争が続いているのだという実感となって露呈してきた。



中国で私は、秘書長という役柄、随員の工作人員と、日程、参観地の打ち合わせをした。南京大虐殺の記念碑とも言うべき雨花台の参拝、南京大学の学生、教職員との座談会、北京大学の学生との座談会、その他、労働者、農民、幹部等との交流を経て、毛沢東、周恩来という2つの柱を失ったこの動乱の時期に、一人一人が自覚を持って、中国の社会主義建設を担う気概に燃えている事を知る事ができた。それは、静かだが、食い入る様な眼差しの中に充分過ぎる程感じられた。

上海では、熱傷治療、白内障治療で有名な新華病院を見学した。そこで、ハリ麻酔による甲状腺摘出術と白内障治療の実際を見る事ができた。ハリ麻酔は、1時間にも及ぶもので、日本の手術場を思うと、ハリ麻酔用の小型電気装置と照明、それに手術器具があるだけで、何とも殺風景なものだったが、たった4本の針を患者の頸部に打つだけで、当の患者が目パチクリさせて、手術を見守る我々を見ている様子は奇妙以外の何物でもなかった。ハリ麻酔が、医学の奇蹟とまで言われる事も、あながち誇張でもない様に思われた。

一部で言われている様に、中国医療の現状は、まだまだ、医療水準を上げるのに精一杯で、研究等学術的な面は立ち遅れているが、それにも増して、今日の中国を支えていると同じく、人民を主体とした制度上では先進国を上回るものがある様な気がした。

「日本の医療は、人民を忘れている。」と言った日本からの留学生の言葉と、「医療設備が立派でなくとも、誠心誠意奉仕する精神が重要だ。」と言ったはだしの医者言葉が、奇妙に、胸の中で響く。

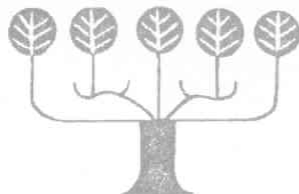
(第4学年 学生)



第3回全学スポーツ大会

冬季間の学内親睦行事である第3回全学スポーツ大会(球技大会)は、2月14日(月)から3月4日(金)まで開催され、バドミントン、卓球、サッカーの3種目に熱戦が展開されました。なかでもサッカーは雪に足を取られ、各チームともボールに追いつくのがやっとで僅差の試合が多く、応援にも力が入ったようです。競技成績はバドミントン1位事務A、2位事務B、サッカー1位1B、2位1A、卓球1位4A、2位事務Aでした。

(学生課)



研究室紹介

■解剖学第一講座■

八代 均

肉眼解剖学は基礎医学の中でも最も基礎的な学問であり、また最も古い歴史をもつものである。その内容は甚だ広くかつ高度のものであると思われるが、解剖学はあまりにも暗記することが多いために暗記だけをする学問と思われがちである。

解剖学第一講座は解剖学の中ではいまだに不明なところが多い神経系の内でも、特に自律神経の臓器支配及び末梢と中枢における神経線維の走行と連絡の形態学的研究を主テーマとし着実にその基礎的実験を進めているところである。

自律神経の有髄線維の構成についてはかなりよく研究されていますが、もう一つの構成要素である無髄線維については全く不明の状態である。それというのもその研究法が考えられていなかったことによるものであり、今までの本講座での基礎的実験では、かなり期待のもてる結果が得られそうです。



本講座は人体解剖学実習を担当していることから、当初は実習のための遗体蒐集あるいはそのためのキャンペーンにほとんどの時間が費やされていました。次第にそれが定着するようになり、本格的に研究室として態勢を整えはじめたのが一昨年の夏ごろです。昨年4月に北大から山本先生が赴任なさってから次第に研究室らしくなってきました。

本講座には、小生をはじめとして数人の学生が形態学を勉強するために出入りさせていただいています。長期の休暇がある時には、仲西教授からテーマをいただいて実験しています。時には、我々学生も交えて酒を飲みながら議論することがあります。最近マスコミを賑わせている事とか、文学的な事とか、古典的な事とか、時には…なども話題に上るなどバラエティーに富んでいます。

小生は本講座に出入りさせていただいてからもう2年くらいになりますが、解剖学を学ぶにはいかに哲学あるいは科学的なものの見方が必要であるか、またその哲学は単に研究者としてだけではなく、医師としての哲学でもあり、究極的には人間としての哲学にも通じるものである。解剖学第一講座はそれを考えさせるところのように思われる。

(第4学年 学生)

春山登山の事故防止

雪の上を渡る風を強い日射しの中で受けとめる春山登山の爽快さは多くの若人を虜にします。しかし例年にくらべ積雪量の多い本年は雪の状態が不安定であることが予想され、底雪崩や融雪による事故が心配されます。登山にあたっては事前に山の状態を調べ、次のような注意事項を参考として万全の準備を整えてください。

1 天気の急変

春山は移動性高気圧と低気圧が2日おきくらいで、周期的に変化することが多いといわれています。好天は長続きしないと考える必要があります。低気圧通過時には、3月は風雪、4月は雨になります。風雪時は気温も低下し冬山と変わらない気象となります。特に山腹から稜線に出るような所では、みぞれに強風が加わり思わぬ事故につながる可能性があります。

また春山の雨は気温が低いので体温を奪われ、凍傷になる危険があります。高所での無理な行動は避け、防寒具、雨具を必ず持参しましょう。

2 地形

積った雪は結晶が崩れて相互にくっつき合いますが、融雪の進む春山ではこの現象が進行し、高所の雪は冬山よりも一層堅くなります。このため転滑落事故が絶えず、又、底雪崩が起き易い状態になります。なお融雪による雪底路抜きや谷川の増水にも注意が必要です。

3 無理のない日程

限られた日程内で無理な行動をとることによる事故が多いので、経験豊かなリーダーについて綿密な計画をたて、悪天候になったりパーティの中に病人が出たりしたら引き返す勇気を持ちましょう。

なお余裕ある日程は、目的地往復経路での事故防止にも役立ちます。

4 登山の手続き

登山者は登山計画について学生係に行動計画書を提出するとともに、登山地の警察や営林署で必要手続を行ってください。なお単独登山は避けてください。

5 春山スキー

高所での滑降には、積雪時の登山と同様、雪崩や濃霧の危険が予想されます。したがって天候、登山行動の注意を守るようにしましょう。(学生課)

学生団体について

「かぐらおか」第8号で、学生団体の届出状況についてお知らせしましたが、更に次のとおり学生団体設立届の提出がありました。(学生課)

昭和52年度学生団体一覧

(昭和52年3月2日現在)

	体育系学生団体	文化系学生団体	合 計
団 体 数	24	21	45
加入学生数	381	265	646

(体育系)

団 体 名	会員数	責任者	顧問教官
大東流合気武道クラブ	8	星川義人	中島 進

(文化系)

団 体 名	会員数	責任者	顧問教官
児童文化研究サークル河童	2	豊口 晶	岩渕次郎



サークル

紹介

本学には、体育系24、文化系21の学生団体が組織され延 646名（1人当たり 1.6団体に加入）の学生諸君が活動しています。課外活動は諸君の自発性を存分に発揮できる場であり、先輩、友人や顧問教官との緊密な接触を通して集団活動の経験を得、豊かな人間性の涵養に役立つものです。諸君もサークルに加入し活躍しませんか。（学生課）

ラグビーフットボール部

今年度はわが旭医大ラグビー部にとって発展の年であった。春には、9人もの有望(?)新人の勧誘に成功、5月には部創立以来初の勝利をかちとり、その晩のコンパで勝利の美酒に酔いしれたのであった。またそれと同時に旭川市内大学の中で一番強いチームとなったのである。

来年度は、せっかくかちとった大学一の座を他の大学にうばわれぬように、春からハードトレーニングを開始するつもりである。今が一番充実した時期でもあり、全道一、日本一をめざしてがんばっていききたいと思う。

——写真は初勝利後のスナップ——

（責任者 横山良伸）



部員	経費	活動
23		

硬式庭球部

硬式テニス部は現在約40人の大所帯なクラブですが実質は20人で練習しています。冬の間は冬眠していたように見せかけ油断させておいて実はハードな練習を積んでいたのです。このエネルギーを爆発させる時が来ました。

今までは大学にコートがなく16kmもはなれた市の庭球場へ行って練習してきましたが満足な練習ができませんでした。しかし部員の上達はめざましく、昔は全員C級でしたのに今ではA級からC級まで市の大会に送りこみ全階級独占するほどになり、また全道学生ランキングに入る選手もいるのです。それにテニスコートへ行けば藤高の女生徒の熱い視線が待っていますし、果物などの差し入れもあるのです。なんといったって我々は彼女らのあこがれの的だし、それにテニスはファッションナブルなスポーツですから。またクラブ創設4年目で、全道で4部中2部リーグに去年昇格し各大学から新興勢力としてマークされるようになってきました。最後に今年は帯畜大をKOして一部に昇格する年として、私がおのれがやかしい名誉ある部長となる予定であります。

（責任者 相沢浩）

部員	経費	活動
40	月 500円 遠征費負担	大学王座リーグ戦3部 1位 大学王座2部入替戦 2部昇格 旭川庭球協会加盟

準硬式野球部

わがクラブは、たとえ少しでも活動に参加できる人はすべて部員とすることと、決められた練習を忠実に実行する人が優先的に試合に出場することを基本方針としています。即ち実戦の場では学年が上だとか、先に入部したとかは原則的に関係なく、入部してから上記の方針を遵守し、しかも技量優れた人はすぐに公式戦で活躍してもらいます。従って一年生の皆様もすぐに実戦で活躍するチャンスは十分あります。どうか一人でも多くの方が入部され強力なチームを作り上げるべく活躍されることを切に希望します。

（責任者 表 由晴）



部 員	経 費	活 動
17	月 300円 遠征費一部負担	全日本大学準硬式野球道予選、地区体、道地区準硬式野球新人戦出場 東医体 5位

バレーボール部

排球部は新設医大というハンデイにもかかわらず、各大会で好成績をあげ、通算44勝11敗、いまや全道でも指折りの好チームにのしあがった。速攻と時間差によるコンビネーションバレーを主体とし、チームワークも万全で粘り勝ち、驚異の逆転勝ちも数々経験した。部員は高校時代の経験者は少なく初心者もいたが、彼らも練習の効果あって、今やレギュラーと肩を並べるまでに成長した。さあ、バレーが好きでやる気のある人、老若男女、経験の有無、身長の高低をとわず、医大有数の実力派、個性派集団の排球部の伝統をつぎにいざ来たれ!!

(責任者 浜崎 卓)



部 員	経 費	活 動
13	月 500円 遠征費負担	全道大学春季リーグ3部 優勝2部入り 地区体優勝 東医体2位 全医体3位 全道大学秋季リーグ2部 優勝

バドミントン部



我がクラブは発足3年目で、現在30名余りの部員を擁しております。しかし実際に活動に参加している者は20名程で、他大学に比して戦力不足を感じております。活動は週2回2時間の体育館での練習が主で、東医体・北医体・地区体に際しての強化練習及び参加が、それに加わります。ま

ずバドミントンを楽しむこと、そして練習及び各大会への参加を通じて部員相互の親睦や他大学との交流を深めることが、我がクラブの目的です。上記大会には個人戦も多く、新入部員諸君の参戦も容易です。

経験の有無、性別を問わず多数の入部を望みます。

(責任者 楠 祐一)

部 員	経 費	活 動
34	月 300円 他ラケット購入費	北日本医科学学生体育大会、東医体、地区体出場 旭川バドミントン協会、北海道学生バドミントン連盟加盟

空 手 部



我が空手部は設立以来4年目を迎え、名人猪又部長を筆頭に、達人大西師範代さらには、酒で腹筋を鍛えようとして失敗し、胃に穴をあけて現在養生中の鬼殺しの橋本先輩をそろへ、部員一同いよいよやる気に燃えている所であります。道場は、ありとあらゆる

訓練設備を備え、シャワー、トイレ付き、駅からバスで20分、又勉強する人の為に大学まで備えつけてあるという夢のようなクラブであるわけです。最後になりましたが、皆さんノ空手部入試合格本当におめでとうノ押忍。

(責任者 猪又光孝)

部 員	経 費	活 動
12	月 200円 遠征費一部負担	東医体 ブロック3位 旭川空手道連盟模範演武出場 旭川空手道連盟和道会旭川支部、北海道空手道連盟他加盟

山 岳 部

地球上のわずかな凹凸が、山であり、谷である。

しかし、そのたかだか数kmの高さの違いで、空は、地上で見るときよりもはるかに美しく、星は一層近い。一年の大部分を雪でうずめる山。しかし夏ともなれば、日あたりのよい、しかし雪渓もまだ残る斜面に、精一杯生きる植物たちが、その短い命故に美しく咲きみだれる。登山はスポーツではある。しかし、それは競技ではな

い。あなたも、われわれと共に、足元に大きな大きな地球を感じてみようではないか。

(責任者 鈴木伸治)



部員	経費	活動
15	必要のつ ど徴収	

卓 球 部

卓球部は大学創立と同時につくられた伝統のあるクラブです。初めのうちは同好会の雰囲気を出せなかったが、去年あたりから本格的に部活動を始めています。一昨年は東医体全敗、去年は2勝5敗というように徐々にではあるが確かに力はついてきています。

卓球ほどメンタルな面が微妙に影響するスポーツは他にないでしょう。きびしい練習を通じての先輩後輩のつながり、試合においての自己と対戦者の人間的ぶつかり合い。そんな人と人との出会いを大切にしているクラブです。卓球部には是非あなたの新しい力を!!

(責任者 森本典雄)



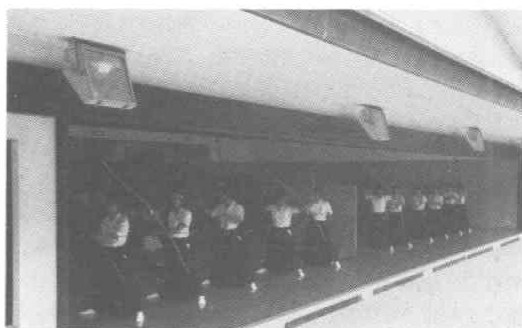
部員	経費	活動
12	月 250円	会長杯兼TSP杯争奪戦、地区体、東医体、北医体出場、旭川卓球協会 全道学生卓球連盟加盟

弓 道 部

弓道とは。まあパチンコのようなものです。まずひとりではかできない。孤独。唯我独尊。などと気ばる必要はまったくない。どちらも根が単純なものですから、的を狙って弓を引きとおすことだけです。もとより初めての的にあてたときの喜びは、たてようもないものです。

また単純だからこそ微妙で、精神面が強調されすぎる。弓を引く楽しさは、的をねらう瞬間の緊張と興奮。放つ時の昇華した気分。カーンと弦の音がひびき、的に矢がすいこまれた時の充足感。そして皆と飲む酒のうまさ。これにつきますでしょう。そして、弓とは美しいものです。

(責任者 森川秋月)



部員	経費	活動
16	月 500円 遠征費負担	道学生選手権 9位 地区体 11位 東医体 15位 争覇戦 3位 旭川地区弓道連盟、北海道学生弓道連盟加盟

剣 道 部

我が剣道部はその激しい練習をもって全学に知れ渡っている。部創設以来すでに3名の犠牲者をあの世に送り、現在入院中の者4名、内生命の危い者2名という聞くも恐ろしい状態である。

腕や脚の骨折は日常茶飯事で、あまりのきびしさに発狂した者2名、退部した者30名を数える。退部した者は退部時にすさまじいリンチを受けるため、頭が悪くなり、退部後は再試再試の連続で、前年度までですでに4名が放校処分となっている。

練習は週3回行われ、内1回は真剣をもって行われるのが部創設以来の伝統である。真剣で行われる日には、練習後道場は血の海となり、そこにちぎれた耳、飛び出した眼球などがプカプカと浮かんでいるというすさまじさである。

このようなすさまじい練習のため警察の手入れを受けたことも1度や2度ではなく、道籙主将は傷害罪に問われ、現在服役中である。

以上の内容を178°転換させたのが我がクラブの実態で

す。残りの2'が我々の根性なのです！

(文責 橋本 博)

部員	経費	活動
13	必要のつ ど徴収(年 8000円)	全国大会道予選(春季、秋季)、地区体 東医体、新人戦出場、市民大会 2位 市剣道連盟、北海道学生剣道連盟加盟

柔 道 部

太陽の子は目醒めた。ハッとして。春だ。春だ。旭川の春。そして夏がもうじき。寒い寒い冬だ。春は喜び。うれしい。力が湧いて外に向かって動き出す。そんなこと。そんなこと…。力はぶつけれ。情熱は太陽とぶつかれ。負けるな。精力善用自他共栄。「若いうちだよ鍛えておこう」って。我が旭医柔道部も新設以来3年、今や世界柔道のメッカとして華々しい活躍。夢は無限大だよ。去年なんか全日本目指して猛烈な練習したんだからネイ。「そのの者窓を開けい」。何んだか良く分からないけど、楽しい時も苦しい時も、再試の人も1発で通る人もみんな、同じ学園の子供達として、本分である学問の余暇は柔道で。仲良くやろうよエンヤコーラヤット。だけどだけど練習の時は厳しく厳しく。旭川の冬みたいに。夏はうーんと暑くて。出せ1億の底力。軍神広瀬とその名残れど。旭川医大の星、柔道部の面々も、きつときつとその名が残るような立派な人になるぞ。学問によって精神的な面から真理に迫り、柔道という素晴らしい平和の武道で肉体的試練より真理に触れよう。今年は大きな試合4つと世界選手権が待っている。頑張らふ打倒キングカチス・イヤウケヤ!! アンソニオーイナッキー!!

(責任者 石川裕司)

部員	経費	活動
12	必要のつ ど徴収(年 3000円)	北大医、札幌、旭医定期戦 3位 東医体ブロック4位 旭川柔道連 盟、北海道柔道連盟、講道館加盟

サ ッ カ ー 部

多くのスポーツが手を使う中で、あえて手を使わぬサッカーは変化に富み興味あるスポーツだ。そんな仲間が12人、毎日練習に明けくれ、実力も上がりつつある。昨年は樽商(全道2位)を地区体で破り、東医体では対戦校慶応(東医体3位)をして「将来恐るべきチームになるだろう。」と言わしめた程だ。激しい練習にもかかわらず、団結力も強く雰囲気もなごやかで個性豊かな部員ばかりだ。今年度は新たに、旭川リーグに加盟するので公式試合も大巾に増加し、部拡充の意味で新入生諸君の積極的入部を期待する。

(責任者 柳部 朗)



部員	経費	活動
12	月 500円	地区体 4位 東医体出場 道医科歯 科系大学サッカー大会 3位 道北リーグ 3位 旭川サッカー協会、学連他加盟

バスケットボール部

バスケット部は年中無休で活動しております。ただ、冬季中に臨時休業が目立ちますが。

現在、長身者に恵まれない我がクラブは、成績にもやはり恵まれず、長身者の入部を切に願っております。

健全な体と、健全な精神の育成のためにも、我がクラブに入部されることを願います。

(責任者 宮津 誠)



部員	経費	活動
15	年 10,000 円、遠征 費負担	市内コート開き 3位、社会人夜間バスケ ット大会 決勝リーグ進出、地区体 東 医体参加、旭川バスケット協会他加盟

ボディビルディング

僕達が入学した当時先輩達がいなかったせいもあって、自分の好きなクラブを作り、楽しんだものだ。所が今や学生は大学にはびこり、何年生の誰なのかわからない者どもが狭い大学にあふれんばかりにいる。そんな所に入学して来れば、積極的に知人を作っていくないと、大学がおもしろい所に感じないだろう。ところで体育系クラブに入っていて、高校でやって来た事を大学でやろうとい

う人は少なく、何もやった事がないが、何か手頃な運動クラブを探している人。大学にのみあり、北海道でも数少ない新しい現代人のクラブ、クラブをやる事が直接自分の血となり肉となる。それこそ我がクラブ、ボディビルである。練習を見ればわかるが、大会をめざしてがんばっている人もいれば、時たまぶらりと風のごとく現われ又去る人、いろいろな人の集まりで、おもしろい。何かに夢中になる事のできる人は、後で後悔のしない人である。文化系的な事は自分の部屋でもできる。しかし何か大学を通じてやってきて、あの時はボディビルで自分の体を鍛えたおかげで、年をとってもこの体が残っているのだと言える時までがんばるつもりはないか。体育館の二階へ来てくれ。弱い肉体を強い肉体に変えるために！

(責任者 豊川好男)

部員	経費	活	動
12	無料		

少林寺拳法部

—— 本当の強さを求めて ——

少林寺拳法を志す人々の動機は多くは、強くなりたいというところにある。人間だれしも強くありたいと願うのが当然であるし、少林寺拳法は護身の術としても、その合理的な技の数々に絶大な効果を秘めているので、技の魅力と、力に対する憧れから、護身練胆を目的として、少林寺拳法へのアプローチを試みる人が多いのも、あながち無理とは言えない。とかく無法者の横行する現代に、正義を貫くための力の裏付けはなくてはならないし、降りかかる火の粉を払いのけられるだけの力は必要である。最低、自分の身は護れるという自信が、真の勇氣につながることになる。

もともと人間は身心一如の実在であって、身体と心が別々に存在している訳ではないから、もし本当の強さを求めるなら、技を磨き（護身練胆）、身体を鍛え（保健体育）、心を養う（精神修業）という3つの目標のどの1つを欠いてもならないであろう。

少林寺拳法は単なる護身術ではなく、この強さの3つの側面、勇気と健康と英智を兼ね備えた真の勇者としての人間完成を目指す道なのである。

(責任者 計良基治)

部員	経費	活	動
11	月 500円 道着負担	少林寺拳法旭川中央支部加盟	

アドベンチャークラブ

Adventure Club. —— 命がけのadventureにだけ生きるのではなく、川下りをやれば水質、土壌分析もやり医

学生として環境問題にも取り組んでいる。昨夏には石狩川をゴムボートで踏破し、石狩川の水銀分析もやった。今年は、ゴールデンウィークに川下り、夏には川下りかねた水質・土壌分析、カーラリー等を計画している。メンバーはいずれも役者ばかりで、それぞれ主役をねらっている強者ばかり。これからの活躍を期待してもらいたい。

(責任者 町田光司)



部員	経費	活	動
5	月 500円 遠征費負担		

写真クラブ



写真をとることは楽しい。しかし、それを自分で現像するのはもっと楽しい。大きなパネルに仕上がった時は、もっとも楽しい。

年に2、3回自分達の作品をもちより作品展を行います。

去年の学祭では、写真展は、医学展と並んで盛況でした。

というのも、写真部に美男美女が集中しているからです。(写真は、学祭の写真展の準備中の一コマです)

(責任者 鈴木伸治)

部員	経費	活	動
13	必要の つど徴収		

音楽集団 飛行船

—— 仲良し子供会発展のために ——

我がサークルも神楽岡開拓部落青年団として発足以来はや4年目の春。都会者に敗けてなると部落民の団結

も固く、神楽岡魂の萌芽を痛感する昨今。しかし押し寄せる過疎化の波はいかんともし難く、緑ヶ丘小学校に結成されたファンクラブも、ペロペロキャンディーによる買収の甲斐もなく解散の憂きめを見ることとなり、世間の風のなんと冷たいことか。かくの如き荒廃ぶりは、一に団員一同が己の美貌に溺れ、切磋琢磨を怠った為と深く反省し、本年は「人身一新」風紀肅清、「商売繁盛」家内安全、を重点目標として、従来のバンド的活動の充実と併行する形で、学生ばかりでなく広く教官や事務の方々の参加を求め、アットホームなフォークコーラスを実現する所存なのであります。すなわち、従来の入団規定第一条「容姿端麗なる者」を全面削除し、新たに「発声可能なる者誰でも入ってちょうだい」の項を設け広く門戸を開放する方針を打ち出したのです。そうです、今まで顔に自信のなかったあなた、あなたにチャンスが巡って来たのです。しかも先着50名の皆様には、入団金1万円を全額免除するという特典付きなのです。（そんなの初めからあるか！）とにかく私達は、我がサークルが全学的な交流の場となることを切に願ひ、フォークをこよなく愛する方の入団を心よりお待ちしております。

（責任者 長谷部直幸）

部 員	経 費	活 動
12	年1000円 楽器各自 持ち寄り	新入生歓迎会、大学祭演芸会出演

語 学 研 究 会

外国語を学ぶということには、その実用面と教養面が考えられる。近年、諸科学の著しい発展に伴って、科学人は外国の知識その他諸々の事を迅速かつ大量に吸収しなければならない状態にある。

医学についても同様なことが言える。国際的舞台上で活躍するためには、私達は英語をマスターすることが必須条件である！そこで、我がクラブが目指しているのは、医学英語の修得と英会話である。幸い英会話に関しては美人米国人教師 Mrs. Okawa を迎えてすばらしく、充実した meeting をしている。

現在の活動としては、meeting を毎日昼休みと週2回午後5時から7時まで行っている。また2週に一度の down town meeting は皆の楽しみの一つになっている。我々はmeetingの中でクラブ員間の親睦を深めると共に、会話力を高め楽しく会話ができる場をつくらんと張り切っている。

医学生である私達はこの機会に英語をマスターし大学生活を有意義なものにしよう。そして未来の世界人として夢大きくはばたこう。

（責任者 古川英樹）

部 員	経 費	活 動
20	年2,000円 合宿費別	北海道英語連盟オリエンテーション参加 大学祭期間映画上映 連休・夏季・春季合宿

落 語 研 究 会



口上を申し上げます。人間は文明が高度になる程ユーモアが必要だと申しますが、歌を忘れたカナリアならぬ笑いを忘れた人間なんてのはちよいといただけません。

笑いといベースこそが人間の人間たるゆえんですよ。Ich denke so bin ich.

なんて難しい事を言った人も居る様ですが人間らしく生きるには Ich lache so bin ich. ですよ。

みんなの白い歯とえくぼを見たい「幸せ売り」これこそが落研です。仏丁面を捨てて笑いのある所へ集まろうではありませんか。

（責任者 石橋隆治）

部 員	経 費	活 動
14	無 料	医大祭ひぼくら亭主催 日赤看護学、旭高専、養教各学園祭賛助出演 白菊会旭川支部総会アトラクション出演

脳 研 究 会

おまたせしました。全医大生の皆様。あのプロメ会がついにパールをぬいで脳研究会として登場しました。脳研の発足は、脳と心の問題が不思議でたまらないある男と男の出会いに始まり、今ではもう3年目になりました。



このクラブで、より一層、脳について見直してはいかが？第2生理の青木助教授にアドバイスをいただいて、毎日、昼休み学生課隣のセミナー室で、又週1回、2～3時間の定期的のロンドを開いています。フレッシュなバイタリティあふれる君の加入を待っています。定例ロンドはそのつど、ロビーに掲示しています。気軽にどうぞ。

(責任者 上田譲二)

部員	経費	話	動
7	無 他に本代 負担		

天文クラブ

—— 星みたい人、集合 ——

2年前にできたクラブであるが、まだまだ軌道に乗っていない感じがするクラブ。でも、今年も気軽に、のんびりと活動していきたいと考えています。去年もそうであったように、今年も『お空』にはこれといった変わった現象は出現しない予定になっておりますが、『予定』はあくまでも『未定』で『決定』ではないので、結局、『空の珍現象』はいつ何時現われるかわかりません。そこで今年の目標は『空珍象』（先ほどの省略）を一早くキャッチすることとします。もし何かを発見できたらその時こそ、この天文クラブが一大飛躍して予算もいっぱいもらえるのではないかとひそかな期待をもっております。でも決していいかげんなクラブではありません。天文学を学問として研究したい方も非常に歓迎いたしますので迷わず入部してください。

(責任者 品田雅博)

部員	経費	活	動
18	年 500円 他、積立 月 300円	大学祭展示、スライド	

棧敷文の会

思えば遠く来たもんだ、と歌った詩人がいた。「棧敷」も思えばよく4号まで出したもんだ。そして今、5号を出そうとしているのだ。たいしたもんだ。こんな雑誌を出すというのは、なかなか大変なことなのである。それだけに末長く続けたいと思う。「棧敷」は、いわゆる文芸誌ではないので、詩や小説は書けん、という人でも心配はいらない(書ける人は、もちろん大歓迎だが)。やることはたくさんあるのだ。自分では書かなくても、例えに出て文学を語り、コンパに出て人生を語る。年に2度、編集や校正を手伝い、広告の寄付金集めに奔走する。それでもいい。自分の手で雑誌を作るのだという確かな喜

びを共有できるのだ。会員にはユニークな人材が豊富なので、いっしょに酒を飲んで語るだけでも楽しいのだ。(そういう人も多い。)

とにかく、だまされたと思って「棧敷」を読んでもらいたい。そして何か言って(あるいは書いて)もらいたい。一年生諸君の新鮮さに期待している。

「現実の裸体をみつめ/ 表現行為を媒介に/ 新たな現実を創造する——『棧敷』とびらより」

(責任者 伊東隆雄)

部員	経費	活	動
22	年 1000円 他、雑誌発 行一部負担		



旭川医科大学談話会

本学談話会が次のとおり行われました。

なお、第29回をもって、昭和51年度予定分が全部終了いたしました。この1年間の御協力に対し、紙上を借りてお礼申し上げます。

昭和51年度談話会幹事

吉岡 一

森 茂美

第27回 12月7日(火) 司会 大河原 章(皮膚科学講座)

(1)「癌に伴う代謝異常の臨床的意義について」

助教授(内科学第三講座) 高杉佑一

(2)「Epstein-Barr ウイルスの oncogenicity」 岡田 先生にもわかっていただける人癌ウイルス学」

助教授(細菌学講座) 水野文雄

第28回 1月11日(火) 司会 並木正義(内科学第三講座)

(1)「多発性硬化症」

助教授(精神医学講座) 宮岸 勉

(2)「日本脳炎の生態学」

助教授(公衆衛生学講座) 土井隆雄

第29回 2月1日(火) 司会 宮岸 勉(精神医学講座)

「代用血管」

助教授(外科学第一講座) 久保良彦

(2)「ナイジェリア Ife 大学医学部の紹介と寄生虫病の問題について」

助教授(寄生虫学講座) 宮本健司

奨学制度について

本学には、日本育英会奨学制度のほかにも都道府県等の奨学制度があります。この制度は、経済的な援助は勿論のこと、給貸与の資格、条件、金額等はそれぞれ異なりますので、希望する学生は自分の資格、条件等に適したものに応募されるとよいでしょう。

募集等については、その都度公用掲示板に掲示します。参考までに現在の各種奨学生数は次のとおりです。

(学生課)

各種奨学生数

(昭和52年3月8日現在)

名 称	貸与月額	奨 学 生 数				
		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	計
日本育英会奨学金	一般貸与 6,000 (11,000)	18	15	11	14	58
	特別貸与 8,000 (13,000)	1	2	1	1	4
	自宅通学 12,000 (18,000)	13	11	13	17	54
	自宅外通学					
計		31	27	26	32	116
北海道医学及び歯学奨学資金	50,000	3	3	13	13	32
長野県医学生奨学資金	40,000				2	2
東京都公衆衛生奨学資金	30,000				1	1

川崎市公衆衛生奨学資金	30,000		1			1
青森県警察医局等保健奨学資金	40,000				1	1
兵庫県警察医局等保健奨学資金	40,000			1		1
秋田県立医療機関医学生奨学資金	30,000				1	1
北海道厚生農業協同組合連合会奨学資金	50,000	1	3	4	8	
財団法人日本交通文化協会(英才教育事業部)	10,000				1	1
明走支庁母子奨学資金	8,000				1	1
紋別市奨学資金	8,000				1	1
津別町奨学資金	10,000				1	1
知内町奨学資金	6,000			1		1
旭川市奨学資金	10,000		1			1
深川市奨学資金	15,000		1			1
財団法人登別育英会	8,000		1			1
南条育英会	10,000	1				1
財団法人交通通児育英会	20,000	1				1
財団法人 杉村先生記念財団奨学資金	14,000	1				1
財団法人小川育英会	25,000				1	1
明治製菓育英基金奨学資金	15,000	1				1
計		7	8	18	27	60
合 計(延数による)		38	35	44	59	176
在 籍 学 生 数		106	99	96	91	392

備考 日本育英会奨学金貸与月額の()内は第1学年の貸与月額である。



窓 外

福 山 裕 三

▲私どもは人間と生まれて来た限りは、一生のうち、何度かは病気にかかる。その病気も一定の様式に従っておこり、また治まっていく。これを克明に記載し、その原理を明らかにするのが病理学である。古代中国には病理学はなかったけれども、その発想は彼らの遺した文字からはっきり読みとれる。驚くべきことである。

▲水痘を例にあげて考えてみよう。まず軽微な発熱の後身体中に発疹がでて、それは丘疹となり、やがて水疱、膿疱になり、自潰して痂皮を生じて治癒する。これを漢字で書けば、疹、痘、疱、痂となる。

▲疹は病垂れとしん(診の旁り)から成る。しんは横向きに立っている人に三本の「ノ」がついた字であり、人に何かがついていることを示す。身体に耳をつけて心音や呼吸音をきいて病気をいい当てるのを診という。昔は聴診器がなかったからそうしたのである。つまり、疹はぼつぼつした赤いもの(紅斑)が身体についた病気である。これを病理学的には充血という。痘は病垂れと豆から成る。豆は背の高いうつわに食物を盛った絵であり、上に

盛り上がるという意味がある。皮膚の上に盛り上ってできたものを痘という。痘の中味はやがて液化して疱となる。疱は病垂れと包から成る。包は横向きに立っている人の腹の中に巳(胎児)を宿した姿であり、一般にはものの中に何かはいっていることをいう。すなわち、疱は丘疹の中に何かはいっている状態であって、滲出液がはいっているのを水疱、膿を容れたものを膿疱という。膿疱はやがて自潰してかさぶたになる。これを痂という。加は力と口から成り、口をそろえて働く(力)ことであり、ひいてはあるものに他のものを添える意味になった。すなわち、痂は皮膚の上にかさぶたがつけ加わったという字である。痂が落ちる(落屑する)と水痘はなおる。

▲他の病気の経過をみても大同小異である。結核のように体内で病変がおこっても、やはり充血(疹)、腫脹(痘)、浸浸、軟化(疱)、石灰化(痂)という経過をとる。このように、いくつかの漢字を眺めるにあたっても、それらの文字の相互間の関係や起承転結の続きぐあいなどをゆっくり味わうゆとりを、是非、持ちたいものである。

(公衆衛生学講座 教授)



なお窓外カットは北海道新聞掲載のもの